

第80回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第80回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。一般研究発表抄録の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM) Vol. 15, No. 6」への抄録提出はすべて大会ウェブサイト上で行います。

なお、最新情報は第80回学会大会ウェブサイト（<https://www.congre.co.jp/tairyoku80/>）をご覧ください。

記

1. 会期：2026年9月25日(金), 26日(土), 27日(日)

2. 会場：弘前大学文京町キャンパス

（〒036-8560 青森県弘前市文京町一番地）

3. 大会長：津田 英一（弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授）

4. 大会事務局：第80回日本体力医学会大会 主催事務局

〒036-8562

青森県弘前市在府町5

弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座

実行委員長 松田 尚也

5. 運営事務局：第80回日本体力医学会大会 運営事務局

株式会社コングレ東北支社

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング

TEL 022-723-3211 FAX 022-723-3210

E-mail : tairyoku80@congre.co.jp

6. 大会プログラム（予定）

（1）大会長講演

（2）学会理事長講演

（3）海外招待講演

（4）特別講演

（5）基調講演

（6）シンポジウム

（7）一般研究発表（オーラル・ポスター）

（8）学会賞受賞講演

（9）共催セミナー（ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウム）

（10）市民公開講座

（11）その他

参 加 登 錄 方 法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ウェブサイト上で、当日登録は大会会場受付で行います。
(予稿集は基本的に大会ホームページより PDF をダウンロードいただきます。予稿集の冊子発行は大会事務局で検討中です。)

2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
学会非会員	事前登録	一般	12,000円	学生	7,000円
	当日登録	一般	14,000円	学生	7,000円

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

2026年4月1日(水)12:00から8月14日(金)23:59まで

(2) 事前登録方法

事前登録は大会ウェブサイト参加登録のページから、案内に従い登録を行って下さい。

第80回学会大会ウェブサイト: <https://www.congre.co.jp/tairyoku80/>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意下さい。

(3) 事前登録の参加費支払い方法

後日公開する大会ウェブサイト参加登録のページをご参照ください。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録窓口を設置しますが、可能な限り事前登録にご協力をお願いします。

※大会の一般研究発表への応募は会員に限ります。共同研究者は非会員でもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

※大会の一般研究発表への応募は、事前参加登録を演題登録前に完了いただく必要があります。

演題応募方法

1. 登録資格

大会への一般研究発表演題登録ができるのは、大会事前参加登録を完了した会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります。共同研究者は非会員でもかまいません。非会員の方で日本体力医学会に入会希望の方は、日本体力医学会ウェブサイトからオンラインで入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 RENEX Shin-Otsuka 3階

学会支援機構内

TEL：03-5981-6015（学会専用） FAX：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspsfsm@asas-mail.jp

2. 登録方法

演題登録開始：2026年4月1日（水）12：00から

締切：2026年5月22日（金）23：59まで

一般研究発表の演題登録の際には、予め大会ウェブサイト上で事前登録をお済ませください。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。演題登録時に発表形式の選択を行って下さい。ただし、発表形式は希望に添えない場合があります。本学会では、すべて現地での対面発表となります。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録数に上限はございません。

演題登録は大会ウェブサイト演題募集ページより、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFSM Vol. 15, No. 6」掲載用抄録の登録に必要になりますので必ず控えて保管して下さい。毎年、パスワードを失念されたとの問い合わせが事務局宛に多くありますが、事務局では一切対応できません。

大会ウェブサイトURL: <https://www.congre.co.jp/tairyoku80/>

日本体力医学会理事会における決定事項として、「第80回日本体力医学会大会」から演題登録に際し、研究倫理審査を必要とする演題については、所属施設等の倫理審査委員会の承認を受けていることが必須となりました。

* ご所属の機関に倫理審査委員会が設置されていない場合、本学会の倫理委員会にて、人を対象とする医学系研究については研究倫理審査を受け付けておりますので、ご活用ください。

◇日本体力医学会・研究倫理審査

<https://plaza.umin.ac.jp/jspsfsm/rinrisinsa/indexRinri.htm>

＜一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFSM Vol. 15, No. 6」に掲載します＞

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFSM Vol. 15, No. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始：2026年7月上旬（採択通知到着後から）

締切：2026年10月5日（月）23:59まで

締切を過ぎると「JPFSM Vol. 15, No. 6」への抄録の掲載ができません。

3. その他

- (1) 使用コンピューター等に起因する問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしかねます。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティの関係上応じられません。
登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、大会ウェブサイト上に随時掲載いたします。

宿泊予約のご案内

1. ご案内

全国各地より第80回日本体力医学会大会にご参加される皆様方へ

会場の「弘前大学文京町キャンパス」にアクセスしやすい弘前駅前周辺を中心に、お好みに合わせて選べるホテルをご用意いたしました。

詳しくは大会ウェブサイトをご覧ください。大会期間は直前の連休期間から近いこともあります。宿泊施設でも相応の混雑が予想されます。申込締切日近くになりますとご希望ホテルが手配できない場合もございますので、予めご了承ください。

2. 予約方法

2026年4月1日（水）から大会ウェブサイトの「宿泊予約」のバナーから宿泊予約のご案内をご覧いただけます。

大会ウェブサイトURL: <https://www.congre.co.jp/tairyoku80/>

査読をお願いした先生方は次の方々です

2024年12月1日～2025年11月30日投稿分

大澤 真	田中喜代次	日比野 至	向本敬洋
岡 真一郎	田平一 行	平野和宏	森 翔也
川中健太郎	街 勝憲	古市泰郎	門間陽樹
河村健太	辻本健彦	古門良亮	安松幹展
小峰昇一	時澤 健	本田貴紀	山崎文夫
桜井智野風	中川博文	増尾善久	若林 齊
笛山健作	中須賀巧	増田和実	渡邊航平
佐藤麻紀	中野貴博	松尾知明	渡邊龍憲
芝崎学	中村宣博	宮崎充功	
須崎康臣	八田秀雄	宮地元彦	
鈴木伸弥	稗田睦子	宮本忠吉	

41名 (五十音順、敬称略)

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2025年9月）議事録

日 時：2025年9月16日(火) 午後4時45分～5時45分

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

　　インテグレーションコア2階 大会議室

議 長：永富良一理事長

出席者（現地）：

内藤久士、小熊祐子各副理事長、中田由夫常務理事、

井上 茂、岡浩一郎、甲斐裕子、後藤勝正、

須永美歌子、竹森 重、内藤義彦、中里浩一、

檜垣靖樹、町田修一、宮地元彦各理事、

石井好二郎監事、津田英一第80回大会長

出席者（オンライン）：永富良一理事長

欠席者：

赤間高雄、勝川史憲、下光輝一、田畠 泉、田村好史、

成田和穂、浜岡隆文、前田清司、宮川俊平、

宮下政司各理事、清田 寛、小林康孝各監事、

家光素行第79回大会事務局長

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

2025年スポーツ医学研修会基礎コースを申込済みで受講未完了の受講者について、来年度は受講料を支払わずに受験可能とする旨が報告された。

2) 学術委員会（町田学術委員長）

多施設介入研究のキックオフミーティングについて説明がされ、進捗状況が報告された。

3) 編集委員会（後藤編集委員長）

Scopusの収載申請がリジェクトとなった旨が説明され、先方からの通知の内容について報告された。

4) 男女共同参画推進委員会

（甲斐男女共同参画推進委員長）

結婚・出産・育児等のライフイベントと研究・教育活動の両立に関するアンケートについて説明がされ、回答結果が報告された。

5) 全国地方会実行委員会（岡全国地方会実行委員長）

全国地方会実行委員会の委員変更について説明がされ、次回理事会で改めて報告する予定である旨が確認された。

2. 第80回（青森）大会の進捗状況（津田第80回大会長）

津田大会長より、第80回（青森）大会の準備状況について報告された。

3. その他

1) 監事の補充について（中田常務理事）

中田常務理事より監事の補充の必要性について提起され、意見交換がなされた。

2) 学会賞等選考委員会委員の任期について（永富理事長）

永富理事長より学会賞等選考委員会の委員長の継続及び委員の変更について説明がされ、委員の任期に関する規定の整理を進める旨が報告された。

3) 領域横断的な肥満症対策の推進に向けたワーキンググループ合同企画シンポジウム参加者派遣について（小熊副理事長）

小熊副理事長より、日本肥満学会から依頼があつた領域横断的な肥満症対策の推進に向けたワーキンググループ合同企画シンポジウムへの参加者派遣について説明がされ、石井好二郎氏が対応される旨が確認された。

4) 大会における非会員への入会の勧誘について（井上総務委員長）

井上総務委員長より滋賀大会における非会員の入会勧誘について報告された。

一般社団法人日本体力医学会 令和7年度評議員会 議事録

日 時：2025年9月18日(木)
午後1時15分～午後2時15分

場 所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
コラーニングハウス/C101

議 長：下光輝一

出席理事監事（現地）：

内藤久士、小熊祐子、中田由夫、井上 茂、岡浩一朗、
甲斐裕子、後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、
竹森 重、田畠 泉、内藤義彦、中里浩一、成田和穂、
浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮下政司、
宮地元彦各理事、石井好二郎監事

出席理事（オンライン）：永富良一理事長

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、永富理事長、下光輝一理事の挨拶があつた。続いて、中田常務理事より、"評議員会兼社員総会の成立"について説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数484名のうち、委任状を含めた過半数（242名）以上の出席があれば開催可能となる。評議員会兼社員総会の出席者は197名であるが、2025年9月9日時点で、評議員Web登録委任状144名および往復はがき委任状138名を併せて282名で既に半数を超えていたことから、評議員会の開催が成立する旨、報告された。中田常務理事より、令和7年度評議員会兼社員総会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和7年度庶務報告に関する件（中田常務理事）

1) 会員総数3,254名（2025年7月31日現在）

名 誉 会 員	38名
正 会 員	3,153名（外国会員を含む）
シニア会員	59名
外 国 会 員	11名
贊 助 会 員	4団体
公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社	

2) 役員数

評 議 員	486名
(内) 医 師	60名
(内) 非医師	426名
(内) 理 事	25名
監 事	3名

3) 購読数

体 力 科 学	89団体
JPFSM	6団体

4) 年度内入退会状況

新 入 会 員	276名
退 会 者	358名
(内) 申 込 者	201名
自然退会	157名

2. 令和7年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和7年度事業について報告された。

1) 事業期間

2024年（令和6年）8月1日～
2025年（令和7年）7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1. 第81回大会（宮崎）大会長の推薦：田島卓也先生（宮崎大学医学部医学科感覚運動医学講座整形外科学分野准教授）

2. 学会規定の公開

3. 部会制・若手の会の設立・運営に関すること

①若手の会、②健康運動指導士部会、③理学療法士部会、④医師部会

4. 会員の状況に関する情報の収集・分析・公開

5. 大会・学会連携マニュアルの検討

・編集委員会

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)」

Vol. 13のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 14のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 73のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 74のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFSM、体力科学掲載論文リストのメール配信

2. メール配信文について

JPFSMの発行にあわせて掲載論文の情報をメール配信してきたが、体力科学の掲載論文についてもあわせて配信することとした。(11/21)

3. CCライセンス表示について

「体力科学」Vol. 73, No. 6, 「JPFSM」Vol. 14, No. 1より、冊子体の各論文PDFにもCCライセンスを表示することとした。

4. Scopusへの収載申請（2/18）

5. Web of Scienceへの収載申請（2/25）

・学術委員会

第79回日本体力医学会大会において学術委員会主催の2つの教育講演（AIおよび論文サポート）を企画した。

1. スポーツ医学研修会委員会

スポーツ医学研修会及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®について検討を行った。

コロナ渦によって2020年より中止を余儀なくされていた第31回スポーツ医学研修会は基礎コースをオンラインでの実施、認定試験をCBT (computer based testing)、応用コースを対面での実施としてそれぞれ実施することとなった。

日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号継続者として7名（うち終身0名）を継続とした。

2. 学会賞選考委員会

- 1) 第38回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。
 - 2) 第79回日本体力医学会大会大塚スポーツ医・科学賞の選考を行なった。
 - 3) 「涉外委員会企画」若手研究奨励賞候補者セッションの審査を行なった。
 - 4) その他の必要な選考を行なった。
- ・財務委員会
収入、支出が適正に行われていること、各委員会においては委員会の活動に対して適正な予算の執行が行われていることを確認した。
- ・利益相反委員会
1. 日本医学会「COI管理ガイドライン2025」更新案にあわせて、「日本体力医学会利益相反(COI)に関する運用指針」の改定を行った。
2. 上記にあわせ、編集委員会と連携して、学会誌のCOI申告書をICMJEフォームに差し替えた。
- ・評議員選考委員会
1. 令和6年度評議員候補者15名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。(男性:12名、女性:3名)
2. 令和7年度評議員候補者として12件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。(男性:8名、女性:4名)
- ・涉外委員会

【国際学術事業】

- ①2024年度若手研究奨励賞(国際学術交流)による、若手研究者・学生への表彰(佐賀大会で独自のセッションを設け、口頭発表にて審査)
1次審査の書類選考にて17名の会員より応募があり、7名が佐賀大会での2次審査に選出され、最終的に以下の3名が若手研究奨励賞(国際学術交流)受賞
第1位 古市泰郎(東京都立大学)
第2位 平賀大一(筑波大学大学院)
第3位 川島将人(川崎医療福祉大学)
- ②2025年度日本体力医学会若手研究奨励賞(国際学術交流)の滋賀大会での発表のための選考
9名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、6名を滋賀大会での最終審査のために選出
- ③European College of Sport Science(ECSS)との交流シンポジウム
(ア) ECSS Rimini 2025での公募シンポジウムへの派遣
1名より応募があり、涉外委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員1名を派遣
安藤創一(電気通信大学)
- ④Korean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウム
(ア) 2025 Korean Society of Exercise Physiology年次集会への派遣
2名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員2名を派遣

- 江島弘晃(長崎国際大学)
畠中翔(東京都健康長寿医療センター研究所)
(イ) 佐賀大会におけるKorean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウムのための選考
涉外委員会委員による推薦を経て、以下の日本体力医学会会員2名を選出
内田昌孝(立命館大学)
奥津光晴(名古屋市立大学)

【国内学術交流事業】

- ⑤滋賀大会での日本スポーツ栄養学会との交流シンポジウムのための選考
涉外委員会委員による推薦を経て、以下の(日本体力医学会会員)2名を選出
宮本直和(早稲田大学)
坂崎未季(DM三井製糖株式会社)

・倫理委員会

1. 第78回大会(佐賀大会)の一般演題登録者に対して行った倫理的手続きについてのアンケート調査結果の解析を行った。
2. その結果、第79回大会(滋賀大会)から、倫理承認が必要な研究の一般演題については、すでに倫理承認を得ている演題のみ登録を受け付けることを決定し、本学会ホームページで会員に周知を行った。
3. 滋賀大会事務局と、一般演題応募時の倫理的手続きを確認方法について協議を行った。

・広報委員会

1. ホームページのコンテンツに関する検討
体力医科学に関する最近のトピック(令和6年11月から令和7年7月:9本)のホームページへの掲載

・男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. 佐賀大会におけるキャリアセミナーの実施(学術委員会との共同企画)
3. 滋賀大会における企画の検討
4. 会員アンケートの企画(8月19日に実施)

・全国地方会実行委員会

1. 各地方会における課題を把握し、地方会の柔軟な開催形態等について検討
2. 各地方会の円滑な運営に向けて、それぞれの規約等の収集・整理

・プログラム委員会

1. 佐賀大会の本部企画プログラム3つを実施
2. 滋賀大会の本部企画プログラム2つを企画・運営

・将来構想検討委員会

- 現執行部会がその任務を果たしているため、活動休止中

- 3) 第78回日本体力医学会大会(佐賀)の実施
大会長: 松山郁夫

(佐賀大学名誉教授、鎮西学院大学教授)

会期: 2024年9月2日(月)~9月4日(水)

会場: 佐賀大学 本庄キャンパス

(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)

- 4) 令和7年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者
継続（7名）
大見 武弘 落合 香 角田 貢
相馬 優樹 夏井 裕明 沼尾 成晴
三浦 真弘
終身（0名）
(敬称略)
- 5) 令和7年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号認定者
赤間 高雄 中里 浩一
(敬称略)
3. 令和8年度事業計画に関する件（各委員長）
以下のとおり令和8年度事業計画について報告された。
- 1) 事業期間
2025年（令和7年）8月1日～
2026年（令和8年）7月31日
 - 2) 委員会活動
 - ・総務委員会
 - 1) 委員会全体
 - ・長野大会長の推薦
 - 2) 規程WG
 - ・規程類の公開及び改廃
 - 3) 会員情報WG
 - ・会員情報の集計
 - 4) 部会制・若手の会WG
 - ・部会・若手の会の運営
 - ・新規部会の募集
 - 5) 大会支援WG
 - ・大会支援マニュアルの作成
 - ・編集委員会
 - 1) ジャーナルの発行、公開（J-STAGE, DOAJ）
JPFSM : Vol. 14-4～15-3 (合計6号)
体力科学 : Vol. 74-4～75-3 (合計6号)
 - 2) 掲載論文数を増やす
[JPFSM] : 特集を掲載する。
[体力科学] : 特集を掲載する。
・特集号『サルコペニア概念について熟考する』
4編掲載予定
・第78回日本体力医学会大会（佐賀）より編集委員会で推薦された依頼総説3編、教育講座
2件掲載予定
 - ・学術委員会
 1. 学術委員会
 - 1) 第79回滋賀大会（2025年）において、以下の企画セミナーを開催予定
 - ・AIを活用した研究推進に関するセミナー（AIセミナー）
 - ・研究者向け論文執筆支援セミナー（論文サポートセミナー）
 - 2) オンラインによる定期的なAIに関する学術セミナーの開催
 - ・年3回の開催を目安に、学会員の研究知見の共有およびスキル向上を目的とする
 - 3) 今期に重点的に取り組む活動
 - ・多施設共同による運動介入研究の推進に向けた準備・検討
- ・学会員の研究力向上を目的とした支援活動の企画・実施・学術委員会
2. スポーツ医学研修会委員会
 - 1) 2025年度研修会について
2025年度は体制や講師などを一新して開催する。（2025年5月現在、基礎コース受講者募集中である。）
 - 2) 2026年度研修会について
2025年度より引き続き実施予定である。
3. 学会賞選考委員会
 - 1) 第39回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。
 - 2) 第79回日本体力医学会大会（滋賀大会）で第38回受賞者の講演を開催する。
 - 3) 学会HPにて、第38回の受賞者を紹介する。
 - 4) 第80回日本体力医学会大会（青森大会）において大塚医科学賞の選考を実施する。
 - 5) 上記以外の褒賞、研究費申請、派遣事業などの日本体力医学会からの被推薦者の選考を実施する。
- ・財務委員会
令和9年度予算案の作成
各委員会からの予算案をもとに適正に資金を運営していく。
- ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）のさらなる周知をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ女性評議員の増加を目指す。
- ・涉外委員会
涉外委員会は国内外の学術団体（学会）や関連組織との学術交流・連携活動の推進を図るため、以下の事項を分掌する。
- 【国際学術交流事業】
- ①若手研究奨励賞（国際学術交流）による、若手研究者・学生への表彰（第79回日本体力医学会大会（滋賀）にて審査）
 - ②European College of Sport Science (ECSS)との交流シンポジウム
 - (ア) ECSS Lausanne 2026での公募シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - (イ) ECSS Glasgow 2024のYIA受賞者3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での国際セッションへ招聘
 - ③Korean Society of Exercise Physiology (KSEP)との交流シンポジウム
 - (ア) KSPEの会員3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での交流シンポジウムへ招聘
 - (イ) KSEP 2026（例年4月）での交流シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - ④2025 World Congress on Kinesiology & Sport Science（2025年10月：韓国）への派遣（日本体力医学会会員×4名）
 - ・日本体力医学会が共催として開催する国際学会

- ・シンポジウムテーマ：Evidence Identified by Health Science Studies. Are They Practical in Real Life? - Responsibilities of Health Science Research
- ・座長：永富良一
- ・シンポジスト：永富良一，城所哲宏，紙上敬太，山田満月

【国内学術交流事業】

⑤国内学術団体との合同シンポジウム

- (ア) 第103回日本生理学会大会（2026年3月10日（火）～3月12日（木）に東京医科大学での合同シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）

・倫理委員会

- 1) 大会の一般演題応募における倫理的手続きについての周知

- 2) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

・広報委員会

- 1) 広報委員による“体力医科学に関する最近のトピック”の掲載

- 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動

・男女共同参画推進委員会

- 1) 男女共同参画推進に関する情報収集

- ・男女共同参画学協会連絡会への委員の参加

- 2) 学術大会での企画検討・実施

- ・第79回日本体力医学会大会におけるシンポジウムの開催

- ・上記に先立ち会員アンケートの実施

- 3) 学会活動への男女共同参画推進に向けた施策の検討

- ・委員会にて議論のうえ、理事会に提案予定

・利益相反委員会

- 1) 「日本医学会COI管理ガイドライン2025」を参照し、必要であれば本学会の利益相反（COI）に関する運用指針をアップデートする

上記の「日本医学会COI管理ガイドライン2025」は、6月27日に日本医学会臨時評議員会で最終案が審議される予定。すでに学会誌投稿誌のCOI規定については更新案が提示されており、これにあわせて本学会のCOI運用規定の改定を本学会理事会で審議

組織COIについても、上記ガイドラインを参考照し必要なアップデートを行う

・全国地方会実行委員会

遠隔会合の併用を含めた地方会運営の工夫を検討する。

・将来構想検討委員会

現執行部会がその任務を果たしているため、活動休止中

・プログラム委員会

- 1) 学術大会での本部企画の立案・運営

- 2) 学術大会でのシンポジウムのテーマ・セッションの調整

- 3) 第79回日本体力医学会大会（滋賀）の実施

大会長：田畠 泉

（立命館大学スポーツ健康科学部特命教授）

会 期：2025年9月17日（水）～9月19日（金）

会 場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス
(〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1)

4) 第80回日本体力医学会大会（青森）の準備

大会長：津田英一（弘前大学大学院医学研究科教授）

会 期：2026年9月25日（金）～27日（日）

会 場：弘前大学文京町キャンパス

4. 令和8年度会計報告（予算）に関する件

（中田常務理事）

令和8年度予算書が提示され、令和8年度の収入額合計72,823,500円、支出合計額が77,572,500円で、赤字見込みである旨、報告された。

5. 第81回日本体力医学会大会（宮崎）に関する件

（永富理事長）

大会長として田島卓也氏（宮崎大学医学部整形外科准教授）が理事会で承認された旨、報告された。

6. 令和7年度会計報告（決算）に関する件

（中田常務理事）

令和7年度決算について、当年度収支としては285,689円の黒字となり、次年度繰越金は97,731,853円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き石井監事より監査報告が行われたことが報告された。

7. 理事再任に関する件（永富理事長）

定款細則、第4章、第5条の2.に基づき、理事の全員が本総会の終結をもって任期満了退任することを議場に報告のうえ、その後理事の再任を議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって再任されたことが報告された。

理事：赤間高雄、井上 茂、岡浩一郎、小熊祐子、甲斐祐子、勝川史憲、後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、竹森 茂、田畠 泉、田村好史、内藤久士、中里浩一、中田由夫、永富良一、成田和穂、浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮川俊平、宮下政司、宮地元彦

8. その他

- 1) 津田第80回大会長より、第80回（青森）大会概要について報告された。

【審議事項】

1. 評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

令和7年度評議員推薦に関しては12名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。新評議員（12名）

桑水 隆多	小崎 恵生	高倉 久志
塚本 敏人	土屋 陽佑	鳥取 伸彬
中川 剣人	林 七虹	森嶋 琢真
柳川 尚子	山口 真紀	山澤徳志子

（敬称略）

一般社団法人日本体力医学会 令和7年度社員総会 議事録

日 時：2025年9月18日(木)

午後1時15分～午後2時15分

場 所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

コラーニングハウス/C101

議 長：永富良一

出席理事監事（現地）：

内藤久士、小熊祐子、中田由夫、井上 茂、岡浩一朗、
甲斐裕子、後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、
竹森 重、田畠 泉、内藤義彦、中里浩一、成田和穂、
浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮下政司、
宮地元彦各理事、石井好二郎監事

出席理事（オンライン）：永富良一理事長

出席社員数：197名（議決権個数197個）

議事録作成者：永富良一

議事に先立ち、永富理事長の挨拶があった。

【報告事項】

1. 令和7年度庶務報告に関する件（中田常務理事）

1) 会員総数3,254名（2025年7月31日現在）

名 誉 会 員	38名
正 会 員	3,153名（外国会員を含む）
シニア会員	59名
外 国 会 員	11名
贊 助 会 員	4団体
公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社	

2) 役員数

評 議 員	486名
(内) 医 師	60名
(内) 非医師	426名
(内) 理 事	25名
監 事	3名

3) 購読数

体力科学	89団体
JPPFSM	6団体

4) 年度内入退会状況

新 入 会 員	276名
退 会 者	358名

(内) 申 込 者	201名
自然退会	157名

2. 令和7年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和7年度事業について報告された。

1) 事業期間

2024年（令和6年）8月1日～

2025年（令和7年）7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1. 第81回大会（宮崎）大会長の推薦：田島卓也先生（宮崎大学医学部医学科感覚運動医学講座 整形外科学分野准教授）
2. 学会規定の公開

3. 部会制・若手の会の設立・運営に関すること

- ①若手の会、②健康運動指導士部会、③理学療法士部会、④医師部会

4. 会員の状況に関する情報の収集・分析・公開

5. 大会・学会連携マニュアルの検討

・編集委員会

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPPFSM)」

Vol. 13のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 14のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 73のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 74のNo. 1, No. 2, No. 3

- 1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード
- 2) JPPFSM、体力科学掲載論文リストのメール配信

2. メール配信文について

JPPFSMの発行にあわせて掲載論文の情報をメール配信してきたが、体力科学の掲載論文についてもあわせて配信することとした。(11/21)

3. CCライセンス表示について

「体力科学」Vol. 73, No. 6, 「JPPFSM」Vol. 14, No. 1より、冊子体の各論文PDFにもCCライセンスを表示することとした。

4. Scopusへの収載申請（2/18）

5. Web of Scienceへの収載申請（2/25）

・学術委員会

第79回日本体力医学会大会において学術委員会主催の2つの教育講演（AIおよび論文サポート）を企画した。

1. スポーツ医学研修会委員会

スポーツ医学研修会及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®について検討を行った。

コロナ渦によって2020年より中止を余儀なくされていた第31回スポーツ医学研修会は基礎コースをオンラインでの実施、認定試験をCBT (computer based testing)、応用コースを対面での実施としてそれぞれ実施することとなった。

日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号継続者として7名（うち終身0名）を継続とした。

2. 学会賞選考委員会

- 1) 第38回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

- 2) 第79回日本体力医学会大会大塚スポーツ医・科学賞の選考を行なった。

- 3) 「涉外委員会企画」若手研究奨励賞候補者セッションの審査を行なった。

- 4) その他の必要な選考を行なった。

・財務委員会

収入、支出が適正に行われていること、各委員

会においては委員会の活動に対して適正な予算の執行が行われていることを確認した。

・利益相反委員会

1. 日本医学会「COI管理ガイドライン2025」更新案にあわせて、「日本体力医学会利益相反(COI)に関する運用指針」の改定を行った。
2. 上記にあわせ、編集委員会と連携して、学会誌のCOI申告書をICMJEフォームに差し替えた。

・評議員選考委員会

1. 令和6年度評議員候補者15名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。(男性:12名、女性:3名)
2. 令和7年度評議員候補者として12件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。(男性:8名、女性:4名)

・涉外委員会

【国際学術事業】

- ①2024年度若手研究奨励賞(国際学術交流)による、若手研究者・学生への表彰(佐賀大会で独自のセッションを設け、口頭発表にて審査)

1次審査の書類選考にて17名の会員より応募があり、7名が佐賀大会での2次審査に選出され、最終的に以下の3名が若手研究奨励賞(国際学術交流)受賞

- 1位 古市泰郎(東京都立大学)
- 2位 平賀大一(筑波大学大学院)
- 3位 川島将人(川崎医療福祉大学)

- ②2025年度日本体力医学会若手研究奨励賞(国際学術交流)の滋賀大会での発表のための選考

9名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、6名を滋賀大会での最終審査のために選出

- ③European College of Sport Science(ECSS)との交流シンポジウム

- (ア) ECSS Rimini 2025での公募シンポジウムへの派遣

1名より応募があり、涉外委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員1名を派遣

安藤創一(電気通信大学)

- ④Korean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウム

- (ア) 2025 Korean Society of Exercise Physiology年次集会への派遣

2名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員2名を派遣

江島弘晃(長崎国際大学)

畠中翔(東京都健康長寿医療センター研究所)

- (イ) 佐賀大会におけるKorean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウムのための選考

涉外委員会委員による推薦を経て、以下の日本体力医学会会員2名を選出

内田昌孝(立命館大学)

奥津光晴(名古屋市立大学)

【国内学術交流事業】

- ⑤滋賀大会での日本スポーツ栄養学会との交流シンポジウムのための選考

涉外委員会委員による推薦を経て、以下の(日本体力医学会会員)2名を選出
宮本直和(早稲田大学)
坂崎未季(DM三井製糖株式会社)

・倫理委員会

1. 第78回大会(佐賀大会)の一般演題登録者に対して行った倫理的手続きをについてのアンケート調査結果の解析を行った。

2. その結果、第79回大会(滋賀大会)から、倫理承認が必要な研究の一般演題については、すでに倫理承認を得ている演題のみ登録を受けけることを決定し、本学会ホームページで会員に周知を行った。

3. 滋賀大会事務局と、一般演題応募時の倫理的手続きをについて協議を行った。

・広報委員会

1. ホームページのコンテンツに関する検討
体力医科学に関する最近のトピック(令和6年11月から令和7年7月:9本)のホームページへの掲載

・男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. 佐賀大会におけるキャリアセミナーの実施(学術委員会との共同企画)
3. 滋賀大会における企画の検討
4. 会員アンケートの企画(8月19日に実施)

・全国地方会実行委員会

1. 各地方会における課題を把握し、地方会の柔軟な開催形態等について検討
2. 各地方会の円滑な運営に向けて、それぞれの規約等の収集・整理

・プログラム委員会

1. 佐賀大会の本部企画プログラム3つを実施
2. 滋賀大会の本部企画プログラム2つを企画・運営

・将来構想検討委員会

現執行部会がその任務を果たしているため、活動休止中

- 3) 第78回日本体力医学会大会(佐賀)の実施

大会長: 松山郁夫

(佐賀大学名誉教授、鎮西学院大学教授)

会期: 2024年9月2日(月)~9月4日(水)

会場: 佐賀大学 本庄キャンパス

(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)

- 4) 令和7年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®

称号認定者

継続(7名)

大見武弘 落合香 角田貢

相馬優樹 夏井裕明 沼尾成晴

三浦真弘

終身(0名) (敬称略)

- 5) 令和7年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイ

ザー称号認定者

赤間 高雄 中里 浩一 (敬称略)

3. 令和8年度事業計画に関する件（各委員長）

以下のとおり令和8年度事業計画について報告された。

1) 事業期間

2025年（令和7年）8月1日～

2026年（令和8年）7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1) 委員会全体

・長野大会長の推薦

2) 規程WG

・規程類の公開及び改廃

3) 会員情報WG

・会員情報の集計

4) 部会制・若手の会WG

・部会・若手の会の運営

・新規部会の募集

5) 大会支援WG

・大会支援マニュアルの作成

・編集委員会

1) ジャーナルの発行、公開（J-STAGE, DOAJ）

JPFSM : Vol. 14-4～15-3 (合計6号)

体力科学 : Vol. 74-4～75-3 (合計6号)

2) 掲載論文数を増やす

[JPFSM] : 特集を掲載する。

[体力科学] : 特集を掲載する。

・特集号『サルコペニア概念について熟考する』

4編掲載予定

・第78回日本体力医学会大会（佐賀）より編集委員会で推薦された依頼総説3編、教育講座2件掲載予定

・学術委員会

1. 学術委員会

1) 第79回滋賀大会（2025年）において、以下の企画セミナーを開催予定

・AIを活用した研究推進に関するセミナー（AIセミナー）

・研究者向け論文執筆支援セミナー（論文サポートセミナー）

2) オンラインによる定期的なAIに関する学術セミナーの開催

・年3回の開催を目安に、学会員の研究知見の共有およびスキル向上を目的とする

3) 今期に重点的に取り組む活動

・多施設共同による運動介入研究の推進に向けた準備・検討

・学会員の研究力向上を目的とした支援活動の企画・実施・学術委員会

2. スポーツ医学研修会委員会

1) 2025年度研修会について

2025年度は体制や講師などを一新して開催する。（2025年5月現在、基礎コース受講者募集中である。）

2) 2026年度研修会について

2025年度より引き続き実施予定である。

3. 学会賞選考委員会

1) 第39回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。

2) 第79回日本体力医学会大会（滋賀大会）で第38回受賞者の講演を開催する。

3) 学会HPにて、第38回の受賞者を紹介する。

4) 第80回日本体力医学会大会（青森大会）において大塚医科学賞の選考を実施する。

5) 上記以外の褒賞、研究費申請、派遣事業などの日本体力医学会からの被推薦者の選考を実施する。

・財務委員会

令和9年度予算案の作成

各委員会からの予算案をもとに適正に資金を運営していく。

・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）のさらなる周知をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ女性評議員の増加を目指す。

・涉外委員会

涉外委員会は国内外の学術団体（学会）や関連組織との学術交流・連携活動の推進を図るため、以下の事項を分掌する。

【国際学術交流事業】

①若手研究奨励賞（国際学術交流）による、若手研究者・学生への表彰（第79回日本体力医学会大会（滋賀）にて審査）

②European College of Sport Science (ECSS)との交流シンポジウム

(ア) ECSS Lausanne 2026での公募シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）

(イ) ECSS Glasgow 2024のYIA受賞者3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での国際セッションへ招聘

③Korean Society of Exercise Physiology (KSEP)との交流シンポジウム

(ア) KSPEの会員3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での交流シンポジウムへ招聘

(イ) KSEP 2026（例年4月）での交流シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）

④2025 World Congress on Kinesiology & Sport Science (2025年10月：韓国)への派遣（日本体力医学会会員×4名）

・日本体力医学会が共催として開催する国際学会

・シンポジウムテーマ：Evidence Identified by Health Science Studies. Are They Practical in Real Life? – Responsibilities of Health Science Research

・座長：永富良一

・シンポジスト：永富良一、城所哲宏、紙上敬太、山田満月

【国内学術交流事業】

⑤国内学術団体との合同シンポジウム

- (ア) 第103回日本生理学会大会 (2026年3月10日(火)～3月12日(木)に東京医科大学)での合同シンポジウムへの派遣 (日本体力医学会会員×2名)
- ・倫理委員会
 - 1) 大会の一般演題応募における倫理的手続きをについての周知
 - 2) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - ・広報委員会
 - 1) 広報委員による“体力医科学に関する最近のトピック”の掲載
 - 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
 - ・男女共同参画学協会連絡会への委員の参加
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
 - ・第79回日本体力医学会大会におけるシンポジウムの開催
 - ・上記に先立ち会員アンケートの実施
 - 3) 学会活動への男女共同参画推進に向けた施策の検討
 - ・委員会にて議論のうえ、理事会に提案予定
 - ・利益相反委員会
 - 1) 「日本医学会COI管理ガイドライン2025」を参照し、必要であれば本学会の利益相反(COI)に関する運用指針をアップデートする

上記の「日本医学会COI管理ガイドライン2025」は、6月27日に日本医学会臨時評議員会で最終案が審議される予定。すでに学会誌投稿誌のCOI規定については更新案が提示されており、これにあわせて本学会のCOI運用規定の改定を本学会理事会で審議

組織COIについても、上記ガイドラインを参考し必要なアップデートを行う
 - ・全国地方会実行委員会
 - 遠隔会合の併用を含めた地方会運営の工夫を検討する。
 - ・将来構想検討委員会
 - 現執行部会がその任務を果たしているため、活動休止中
 - ・プログラム委員会
 - 1) 学会大会での本部企画の立案・運営
 - 2) 学会大会でのシンポジウムのテーマ・セッションの調整
 - 3) 第79回日本体力医学会大会(滋賀)の実施

大会長：田畠 泉
(立命館大学スポーツ健康科学部特命教授)
会 期：2025年9月17日(水)～9月19日(金)
会 場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス
(〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1)
 - 4) 第80回日本体力医学会大会(青森)の準備

大会長：津田英一(弘前大学大学院医学研究科教授)
会 期：2026年9月25日(金)～27日(日)
会 場：弘前大学文京町キャンパス

4. 令和8年度会計報告(予算)に関する件

(中田常務理事)

令和8年度予算書が提示され、令和8年度の収入額合計72,823,500円、支出合計額が77,572,500円で、赤字見込みである旨、報告された。

5. 第81回日本体力医学会大会(宮崎)に関する件

(永富理事長)

大会長として田島卓也氏(宮崎大学医学部整形外科准教授)が理事会で承認された旨、報告された。

6. 評議員推薦に関する件(浜岡評議員選考委員長)

令和7年度評議員推薦に関しては12名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告がなされた。

新評議員(12名)

桑水 隆多	小崎 恵生	高倉 久志
塚本 敏人	土屋 陽佑	鳥取 伸彬
中川 剣人	林 七虹	森嶋 琢真
柳川 尚子	山口 真紀	山澤徳志子

(敬称略)

7. その他

- 1) 津田第80回大会長より、第80回(青森)大会概要について報告された。

【審議事項】

1. 令和7年度会計報告(決算)に関する件

(中田常務理事)

令和7年度決算について、当年度収支としては285,689円の黒字となり、次年度繰越金は97,731,853円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き石井監事より監査報告が行われたことが報告され、審議の結果、承認された。

2. 理事再任に関する件(永富理事長)

定款細則、第4章、第5条の2.に基づき、理事の全員が本総会の終結をもって任期満了退任することを議場に報告のうえ、その後理事の再任を議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって再任された。

理事：赤間高雄、井上 茂、岡浩一郎、小熊祐子、甲斐祐子、勝川史憲、後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、竹森 茂、田畠 泉、田村好史、内藤久士、中里浩一、中田由夫、永富良一、成田和穂、浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、町田修一、宮川俊平、宮下政司、宮地元彦

一般社団法人日本体力医学会臨時理事会（2025年9月）議事録

日 時：2025年9月18日(木) 午後4時45分～5時00分

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

　　インテグレーションコア2階 大会議室

議 長：永富良一

出席者（現地）：

内藤久士、小熊祐子、中田由夫、井上 茂、岡浩一郎、
甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、須永美歌子、
成田和穂、浜岡隆文、前田清司、町田修一各理事、
石井好二郎監事

出席者（オンライン）：永富良一理事

欠席者：

赤間高雄、下光輝一、竹森 重、田畠 泉、田村好史、
中里浩一、檜垣靖樹、宮川俊平、宮下政司、
宮地元彦各理事、清田 寛、小林康孝各監事

永富理事が仮議長として、開会した。

【審議事項】

1. 理事長・副理事長・常務理事の再任について

（永富理事）

先に開催された社員総会において決議された理事の

中から、理事長に永富良一理事、副理事長に内藤久士理事、小熊祐子理事、常務理事に中田由夫理事が選ばれ、審議の結果、承認された。

2. 各種委員会委員長及び委員の再任について

（永富理事長）

各種委員会委員長及び委員の再任について、永富理事長より報告がなされた。審議の結果、承認された。

全国地方会実行委員会、財務委員会、男女共同参画推進委員会では委員構成の再編について検討中である旨が各委員長、担当理事より報告された。

【報告事項】

1. その他

1) 監事の補充について（中田常務理事）

中田常務理事より、監事の補充に関して報告があり、監事の選任は社員総会での承認事項となること、今期は監事3名の体制で継続することが確認された。

2) 学会HP改訂WGについて（永富理事長）

学会HPの改訂に向けたWGの立ち上げに際して、WGと理事会との連携を図っていく旨が説明された。

第30回日本体力医学会東海地方会のご案内

日 時 2026年3月14日(土) 9:00～17:00 (予定)

会 場 中部大学 50号館5011講義室

愛知県春日井市松本町1200

大会長 尾馬 明（中部大学生命健康科学部）

会 費 一般 2,000円、学生・大学院生 1,000円

支払い方法は現金にて、現地で徴収いたします。

予定プログラム

1) 一般演題発表

2) 特別講演 1

　　テーマ：「日本体力医学会東海地方会の過去・現在・将来：30年を振り返って」

　　演 著者：佐藤祐造（名古屋大学名誉教授）

　　司 会：戸田 香（中部大学）

特別講演 2

　　テーマ：「気象痛とスポーツ活動」

　　演 著者：佐藤 純（中部大学）

　　司 会：片野坂公明（中部大学）

3) シンポジウム

テーマ：「運動・栄養・理学療法と健康増進」

演 著者：遠藤祐輝（名城大学）、小池温子（中部大学）、後藤文彦（東海記念病院）

オーガナイザー：

長崎 大（愛知学院大学）、田中 守（中部大学）、矢澤浩成（中部大学）

資格更新単位について

第30回日本体力医学会東海地方会学術集会は、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位となるよう、申請中です。受講証明書が必要な方は「健康運動指導士証・健康運動実践指導者証」を、当日にご持参ください。

連絡先

第30回日本体力医学会東海地方会学術集会事務局

矢澤浩成（中部大学生命健康科学部）

TEL：0568-51-9829

E-mail：yazawa@fsc.chubu.ac.jp

編集後記

2026年の干支は午です。年末の有馬記念では、単勝3番人気、C・デムーロ騎乗の皐月賞馬ミュージアムマイルが優勝しました。後方待機から第3コーナーで徐々に進出し、直線では先に抜け出したコスマキュランダを力強く差し切る見事な走りで、私が理想とする勝ち方を表現してくれました。年の瀬に、人馬が積み重ねてきた努力が結実する瞬間を目にし、改めて挑戦し続けることの尊さを感じました。

2025年を振り返ると、大谷翔平選手、山本由伸選手、佐々木朗希選手が所属するLA ドジャーズが彼らの大活躍で連覇を達成するなど、多くの日本人選手がメジャーリーグで存在感を示しました。さらに、世界陸上、バスケットボール、バレーボール、サッカーなど、さまざまな競技で日本人アスリートが躍動し、世界の舞台で新たな歴史を刻みました。人類が技術や記録を更新し続けられるのは、選手自身、コーチ、監督、マネジャーなどの日頃のトレーニング、マネージメントによるのは当然ですが、各分野で蓄積してきた研究成果やデータが基盤となり、最良の方法を模索し続ける不断の努力があるからにほかなりません。人類がどこまで進化できるかは未知ですが、その可能性を切り拓くためにも、研究を継続し、新たな事実を積み重ねていく姿勢が今後ますます重要になると感じます。

近年、生成AIという極めて有能なツールが登場し、これまで膨大な時間と労力を要していた作業を瞬時に処理できるようになりました。適切な方法とデータを与れば論文作成すら可能となり、研究環境は大きく変化しています。しかし、査読の場では剽窃や盗用の問題が避けられず、最終的には投稿者の誠実性に依拠せざるを得ません。便利な道具を使いこなしつつ、学術の根幹である倫理性を守る姿勢がこれまで以上に求められています。

2026年の学術集会は青森県弘前市で開催されます。新型コロナウイルス感染症の猛威は収束し、現地開催が復活しました。やはり学術集会は、現地に赴き、その土地の気候を肌で感じ、演者の表情を見ながら講演を聴くことで、日常の実践への応用や新たな研究意欲が喚起されます。一日の終わりには、地元の美味を味わいながら交流し、情報交換を行うことも大切な時間です。このような機会を活用し、地道な努力を積み重ねることで、人類の進歩にわずかでも寄与できれば幸いです。

本誌『体力科学』および英文誌『JPFSM』は投稿しやすい雑誌です。皆さまの投稿を心よりお待ちしております。

小山 照幸

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 75, No. 1

体力科学 第75巻第1号

令和8年1月25日 印刷

令和8年2月1日 発行

編集兼発行者 後藤 勝正
 一般社団法人日本体力医学会
 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
 RENEX Shin-Otsuka 3F 学会支援機構内
 TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
 編集事務局 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社内
 TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
 印刷所 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社